

「〇歳の〇〇君が虐待されたとして亡くなりました。」このようなニュースをよく目にします。私はニュースを見るたびなぜ大人は虐待をするのか、他の人達は気づいて助けてあげられないのか、と疑問に思いだんだんと虐待について興味が湧き、この作文がきっかけで調べてみようと思いました。

なぜ児童虐待が起こってしまうのか。私はまずこれを一番に考えます。私は6人兄弟ですが、親からはたくさん愛情を注いでもらっていると感じます。だから親は子どもを愛するということが、前までは当たり前のことなんだと思っていました。ですが、育てにくさが原因で虐待をされ愛情をもらえない子どもがいることを知りました。でも親も一切愛していないわけじゃないと思います。育児に不安を持っていたり、家族の間で何かストレスがあったりするのではないかと思います。私が考える一番の原因は虐待をしている親も自分の親から愛されずに育ったのではないのかなと考えます。自分自身が愛され方を知らないから人への愛し方が分からないのかなと思います。なので児童虐待が起こる理由は気持ちの問題や愛情表現の難しさから起きていくものだと思います。このようなことを踏まえて私は、普段から人を大切にしようと思いました。親からの愛はなくても他の人から愛されていると思えば、人を傷つけるという気持ちにはなりにくいし、大切にされているという自信にもつながると思うからです。

先日、あるドラマを見ていると虐待についての話が上がっていきました。その話の途中にアメリカで虐待をした場合の話を目にしました。それが気になり調べてみることにしました。アメリカでは子どもから目を離したり、留守番をさせたりする行為はたとえ短時間でも児童虐待と見られ、警察に身柄を拘束されたり罰金を課せられるそうです。さらに、幼児虐待とみなされた場合、子どもが嫌がってもまず親から引き離し、裁判で審査されて、親には強制プログラムが課せられ、変われば子どもを返してもらい、変わらなかつたら親権を剥奪されると知りました。私はこの法律は良いことだと思います。虐待は絶対にしてはいけないという意味が言葉ではなくて行動に表れているし、日本の偉い人たちもこのようなことを見習って、日本にも虐待はダメという意味を行動に出せば、亡くなる子どもを減らすことができると思います。私がおっと素晴らしいと思ったのは、第三者が早いうちに行動できることです。アメリカでは、お店で大きな声で叱っただけで通報されて調査を行われ、些細な行為でも疑わしき行為は問題が深刻になる前に解決させるそうです。お店の話は日本では当たり前のことだったので、とても驚きました。だけど、この早めの行動が子どもを助けることができると考えると、とても素晴らしいなと思いました。日本はいつも事が大きくなってから行動するし、他の人も関わるのが嫌で見てみぬふりする人だっているし、それだと助けられるはずの命が助けられなくなるからアメリカの人の行動力はすごいなと思いました。

私は、コンビニやスーパーに行くたび泣いている幼い子をよく見ます。子どもが泣くとお母さんは怒ります。もう少し想像力をふくらましてみてください。泣いた子は家でもたくさん怒られたり、手を出したりされているかもしれません。私は人見知り知らない人と話すのは苦手だけど子どもとは話せるし、子どもを笑顔にすることは得意なので今度は泣きやませてみようかなと思いました。後、弟や妹にもイライラして、感情的になるのではなく落ち着いて接してあげようと思いました。

まだ幼い子どもが少しでも減るように、小さなことでも自分ができることであれば何でもしようと思いました。みんなも自分ができる行動をすれば虐待から救われる子どもも減るし、親の心も救われて社会は明るくなると私は思います。私は自分の身の回り人を大切にすること、第三者でも見てみぬふりをしない、子どもとのコミュニケーションとかを試みる、この3つを大切にしていこうと思います。この世の中にいるすべての子どもが愛されて育ち、自分が親になったとき、その愛を子どもに注ぐそんな未来になっていけばと心から願います。いつか虐待で亡くなる子どもの数がゼロになるように自分も努力していきます。